

## IPH工法協会

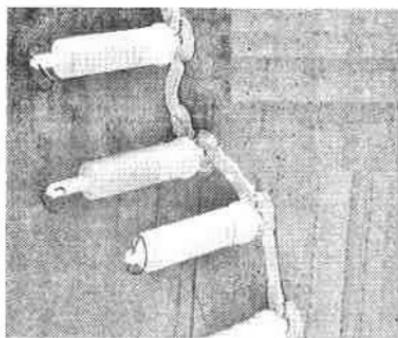
6月に設立した一般社団法人IPH工法協会(加川順一理事長)は、中部地区の活動拠点として中日建設(名古屋市中区)に中部支部を開設した。

IPH工法はスプリング式注入器を使用した低圧樹脂注入工法で、躯体内部の空気を抜きながら樹脂を注入する点と超低圧で注入する点が他の低圧樹脂注入とは異なっている。この独口

## 活動拠点を中日建設に

# 中部支部を開設

開発の「空気抜き」と「超低圧」により、従来の低圧樹脂注入では不可能とされていた躯体表面から30センチ(最大実証値175センチ)への注入や、0.1以下(最少実証値0.01%)への注入を可能にした。



IPH注入イメージ

回復させる。また、鉄筋の周りについても樹脂で被覆するため腐食の進行を防ぐことが可能となっている。

同工法は国交省NETI Sに(V)登録されており、土木学会で技術評価証も取得している。また、全国的に官公庁や公益企業、鉄道・高速道路関係で多くの実績を持っている。

主な特徴としてはコンクリート構造物内の空気と樹脂を置き換えさせることで、躯体を内部から接合補強し、設計数値以上に耐力を

問い合わせ先は中部支部  
電話052(321)6541、担当はIPH事業本部高木本部長。